

日本教育工学協会(JAET)「教育の情報化」実践セミナー2012(金沢会場)のご案内

第38回全日本教育工学研究協議会全国大会は、平成24年11月2日から2日間 石川県金沢市において「知識基盤社会をたくましく生きる子の育成ーメディアを生かす“確かな授業設計”ー」をテーマに開催されますが、全国大会に先立ちプレ金沢大会として「教育の情報化」実践セミナーを開催します。

「教育の情報化」の実践動向を共通理解するとともに、その発展を支えるICT機器や教育システム、デジタルコンテンツの活用事例を参加者間で共有します。そして、「教育の情報化」の今後を展望します。

日時：2月18日(土)13:00~17:00

会場：金沢星稜大学(本館4階 大会議室)

(<http://www.seiryu-u.ac.jp/index.html>)

〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10番地1

主催：日本教育工学協会(JAET)

共催：石川県教育工学研究会

(社)日本教育工学振興会(JAPET)

参加者

小中高等学校教員、関連企業、大学研究者など
(申し込み先着順)。

なお、参加費は、無料です。

※参加ご希望の方は下記よりお申込みください。

<http://www.jaet.jp/katudou/s120218kanazawa2.html>



プログラム

受付開始 (12:30)

開会行事 (13:00~13:10) 木原俊行 (JAET 常任理事)

基調講演 (13:10~13:40)

「メディアを生かす確かな授業設計について」村井万寿夫 (金沢星稜大学)

11月の全国大会テーマの考え方や教育工学の基礎としての授業の設計・実施・評価について講演します。

展示見学 (13:40~14:00 休憩を含む)

出展企業 (50音順) 株式会社アイ・オー・データ機器、エプソン販売株式会社、株式会社エルモ社、ゼッタリンクス株式会社、光村図書出版株式会社、株式会社ラティオインターナショナル

実践事例報告 (14:00~15:00)

コメンテータ：清水和久 (金沢星稜大学)

報告1：デジタル教科書を活用した授業実践

西田素子 (金沢市立犀川小学校)・半沢賢治 (光村図書出版)

報告2：電子黒板を活用した授業実践

岩崎京子 (七尾市立小丸山小学校)・上原裕香 (エプソン販売)

報告3：実物投影機を活用した授業実践

宇野貴光 (小松市立中海中学校)・丹羽亜希子 (エルモ社)

展示見学 (15:00~15:20 休憩を含む)

パネルディスカッション (15:20~16:20)

テーマ：「メディアを生かす授業をどのように具体化させるか」

コーディネータ：加藤隆弘（金沢大学）

登壇者：木原俊行（大阪教育大学）

小林祐紀（金沢市立小坂小学校）

視点：○「メディアを生かす授業」とは

○メディアをどう選択するか、またはいかに組み合わせるか

○メディアを生かす授業を具体化するためのポイント

閉会行事（16:20~16:30）挨拶：村井万寿夫（JAET セミナー2011 担当）

展示見学（17:00 終了）

◇会場について

前半分で講演や実践事例報告、パネルディスカッションを行います。後ろ半分は出展企業6社の展示ブースになります。